

青森県議会議員全員協議会記録

◎ 開催案件

一、共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項の見直し(案)について

令和六年二月十四日(水) 午前十一時開議

開催場所 議場

出席議員 四十四名

議長 丸井 裕

吉田 ゆかり	田端 深雪	斉藤 孝昭	高畑 紀子	工藤 悠平	鶴賀谷 貴	小比類巻 正規	花田 栄介	蛭沢 正勝	川村 悟	夏堀 浩一	丸井 裕	三橋 一三	鹿内 博	田中 順造	議 長
大澤 祥宏	夏坂 陽子	大平 嘉一郎	夏堀 嘉一郎	井本 貴之	吉俣 洋	大崎 光明	谷川 政人	寺田 達也	安藤 晴美	工藤 慎康	山谷 清文	山田 知	清水 悦郎	田名部 定男	
	後藤 清安	北向 樹	小笠原 大佑	工藤 貴弘	成田 陽光	福士 直治	菊池 勲	齊藤 爾	今藤 博	高橋 修一	榑引 ユキ子	伊吹 信一	工藤 兼光	阿部 広悦	

欠席議員 四名
 森内之保留 和田寛司 木明和人
 大澤敏彦

出席事務局職員

局長 田中道郎	議事課長 其田工	総括主幹専門員 中野弥寿喜	主幹 小田直樹
次長 石岡勇一	副参事 鳴海康	主幹 古川祐子	主幹 荒井千万人

出席説明員

知事 宮下宗一郎	副知事 小谷知也	総務部次長 豊島信幸	財政課長 細谷健司	健康福祉部長 永田翔	県土整備部長 永澤親兼	危機管理局長 坂本敏昭	病院事業管理者 吉田茂昭	病院局長 富谷正行	地域医療調整監 阿部善弘
----------	----------	------------	-----------	------------	-------------	-------------	--------------	-----------	--------------

○丸井議長 ただいまより議員全員協議会を開催いたします。

○丸井議長 共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項の見直し（案）について、知事の説明を求めます。——知事。

○宮下知事 おはようございます。

それでは、私から、県と青森市の共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項の見直し（案）等について御説明申し上げます。

最初に、見直しの経緯等について御説明いたします。

県と青森市では、令和四年八月に取りまとめた共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項に従い、関係部局で構成する共同経営・統合新病院整備調整会議等において、基本構想・計画の策定に向けた検討を進めてきました。

私は令和五年六月の知事就任以降、県立中央病院と青森市民病院の統合について、県と青森市の共同経営による統合新病院を整備するという方針は原則として維持する旨、県議会の皆様に説明しております。

その一方で、両病院の統合に当たっては、病床規模、整備場所、県内の二次医療機関との連携など様々な論点があり、これらについてもしっかりと検討し、多くの県民の皆様に納得いただける形で進めていくことが重要であるとの考えも示し、その検討過程を進めるだけオープンにするため、令和五年十月に共同経営・統合新病院整備に係る有識者会議を新たに設置し、有識者会議の御意見も踏まえながら検討を進めるよう、検討体制の見直しを行いました。

有識者会議では、これまで基本構想・計画の策定スケジュールのほか、病床規模や開院時期、地域医療連携推進法人制度の活用、地域医療を支える仕組み等、様々な論点について御議論いただくとともに、貴重な御意見をいただいたところであり、今般、有識者会議からの御意見等を踏まえ、県と青森市の調整会議における検討を経て、現時点において見直すこととした内容を基本的事項の見直し（案）として取

りまとめたものであります。

次に、具体的な見直し内容について御説明いたします。

項目の三番目の病床規模につきましては、令和四年八月の時点の推計で八百床から九百床としておりました一般病床数について、人口減少や季節変動等を踏まえた適切な病床利用率として九〇％に設定し、七百五十床に見直ししております。なお、統合新病院の病床規模については、一般病床の七百五十床に加えて、感染症病床などの一般病床以外の病床について、必要病床数を検討の上、設定することとしておりますので、開院時には七百五十床プラスアルファの病床数を確保することとなります。

四番目の整備場所につきましては、統合新病院が医療従事者のほか、患者さんやその御家族など多くの方が集まる拠点となるものであり、まちづくりの観点等からの検討が重要であることから、まずは青森市において主体的に検討を進めていただくこととしたところであり、現在、同市において青森市統合新病院整備場所等検討会議を開催し、検討を進めていただいております。

今回の整備場所に係る見直しについては、こうしたまちづくりの観点や、青森市の整備場所等検討会議における検討状況等を踏まえて対応するものであります。

具体的には、候補地選定の観点について、三つ目の観点である工期短縮・費用節減の観点から、既存建物がなく、確保が容易な土地について、民有地なども含めて幅広く検討が進められていることを踏まえ、できる限り、既存建物がなく、確保が容易な土地に見直ししたほか、五つ目の観点として、医療従事者や患者・家族など多くの方が集まる拠点として、まちづくりの観点から適していることを追加しております。

また、検討対象地については、旧県立青森商業高校及び県立中央病院敷地、青森県総合運動公園、青い森セントラルパークの三か所を示

しておりましたが、青森市の整備場所等検討会議における御議論等により検討中となっております。

七番目の地域の医療機関との連携推進につきましては、一点目として、県立中央病院と青森市民病院の統合効果の早期発現に向け、県と青森市による地域医療連携推進法人を令和六年度中に設立したいと考えています。この連携推進法人には、両病院に加え、県立つくしが丘病院と青森市立浪岡病院も含める予定としており、四病院の連携を強化することで、それぞれの病院機能の充実や効率的な病院運営等を進めていきたいと考えております。

二点目としては、青森地域保健医療圏において、連携推進法人の設立を視野に入れ、回復期機能を有する医療機関や一次、二次救急を担う医療機関等との連携体制を構築することとしております。連携推進法人については、有識者会議において、地域医療の一体感、共存するためのツールとして非常に有効であり、早急に設立することを考えるべきとの御意見や、青森地域保健医療圏での枠組みができると他の圏域での展開も期待できるといった御意見があったことを踏まえ、改めて設立を視野に入れた検討を進めることとしております。

八番目の地域医療を支える仕組みにつきましては、これまでの地域医療支援という枠組みを超えた新たな取組として、項目名も含めて見直ししております。

県立中央病院は県全域を対象とする唯一の県立総合病院であり、病院統合を契機として、県内の自治体病院等との連携を強化し、医師配置や応援医師の派遣など、県全体の地域医療を支える仕組みづくりに挑戦していきたいと考えております。この地域医療を支える仕組みにつきましましては、統合新病院が単独で構築できるものではなく、医師等の医療従事者養成機関である大学等との連携強化や、地域医療連携推進法人制度の活用を図ることなどにより構築していくこととしていきます。

十番目の開院時期につきましては、これまで基本的事項で示してきておりませんでした。開院時期の目標もなく漫然と検討するだけでは、統合新病院整備に向けたソフト、ハード両面にわたる検討が進まず、統合新病院の早期開院の実現に支障となるおそれがあると考え、新たに項目を追加するものであります。

開院時期の目標については、令和十二年三月頃を目途としております。これは、最近の病院整備の事例、次期保健医療計画との整合などを考慮した有識者会議の御意見を踏まえたものであり、非常に厳しい目標とは考えておりますが、今後、施設整備に係る具体的な検討の状況等に応じて必要な見直しを行うこととしておりますので、御理解いただきますようお願い申し上げます。

最後に、今後の方針について御説明いたします。まず、検討の進め方につきましては、検討体制の見直しを踏まえ、新たに設置した有識者会議の御意見等を踏まえながら進めていくこととしていきます。

また、基本構想・計画の策定期間につきましては、これまで令和五年度中を目途としておりましたが、統合新病院の整備につきましては、様々な論点があり、県民の皆様から納得いただける形で丁寧に議論を進めていくことが重要であることから、令和六年度中の策定に変更することとしていきます。

基本構想・計画の策定期間は見直すこととなりますが、できるだけ早期の策定に向け、県庁一丸となり、青森市とも連携して取り組んでまいりたいと考えております。

また、基本構想・計画策定後は、基本設計や実施設計などの所要の準備を進めることとしておりますが、基本構想・計画策定後、できるだけ速やかに基本設計などに着手できるよう、令和六年度には整備計画の策定、整備候補地の敷地調査、交通影響評価などに取り組みたいと考えておりますので、議員各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

ます。

以上をもちまして、共同経営・統合新病院整備に係る基本的事項の見直し(案)等について御説明申し上げましたが、御質問に応じ、本職をはじめ関係者から詳細に御説明申し上げたいと思いますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

以上であります。

○丸井議長 以上をもって知事の説明を終わります。

なお、ただいまの説明に対する質疑は二月二十八日、十時三十分から行うことといたします。

本日はこれをもって終了いたします。

午前十一時十分散会